

会場：アイテムえひめ（松山市大可賀2-1-28）
主催：株式会社レデイ薬局
共催：南海放送

直接最新の「情報」「商品」をお届けするイベント「健康フェスタ in えひめ 2019」が開催されます。愛媛県民の皆様の更なる健康増進を目指し、協会けんぽも出展いたします。

2. 愛顔（えがお）の健口（けんこう）支援協力事業所推進事業について

6月4～10日は、「歯と口の健康週間」です。愛媛県中予地方局が、松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町の事業所を対象に、「愛顔の健口支援協力事業所」の募集を行っていますのでお知らせします。「愛顔の健口支援協力事業所」とは、従業員の歯と口腔の健康づくりに積極的に取り組む事業所で、むし歯及び歯周病の早期発見、早期治療を勧奨する事業所のことです。

▼詳しくはコチラをご覧ください。

<https://www.pref.ehime.jp/chu52131/egao.html>

3. 季節の健康情報

時期に応じた健康情報や健康レシピをご紹介します！ぜひご覧ください。

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/g5/cat510/h31/1060101>

4. ドクターすなみの脳のおはなし

第136回 手術の技量

外科医は手術が好きだ。手術をしないと飯がまずいと信じている外科医は多い。40代までは長時間の手術も億劫とは思わなかった。最初から最後まで自分が執刀医だった最長の手術は12時間で、脳幹部の脳腫瘍摘出術であった。飲まず食わず、トイレも行かず、12時間。あっという間の出来事でした。術者が交代した手術では17時間、25時間を経験し、県外の病院にいつまでかかるか予想が立たないから手伝いに来てくれと言われ、手術が始まって24時間が経過したときに呼ばれ、結局それから24時間、計48時間を経験した。どうしてそんなにかかるかというと、脳の血管や神経を巻き込んでおり、これをきれいに剥離して腫瘍だけ、あるいは血管奇形だけを摘出しようとするからである。血管や神経を犠牲にしていっしょに摘出すればそこまで時間はかからない。むかしはそんな手術をしていたが、顕微鏡手術になってから、手術道具がよくなってからは細かい作業が可能となり、耳かきでひとさじずつっては止血し、巻き込まれた血管や神経が生きているかどうかを確認しながら、またひとさじずつくうといった気の遠くなるような手術をやるようになるため、途方もない時間がかかるのだ。

私が50代になると若手の脳外科医が育ってきた。しかも熱心によく手術の訓練を顕微鏡でやっている。たとえば仕事が終わって、夕食を済ませ、7時か8時ころからラットを1匹持ってきて、麻酔をかけ、頭蓋骨を開け、脳表を出し、脳血管を吻合する訓練をするわけだ。直径1mmの血管同士をつなぐわけだが、大体1mmの血管周囲に10針の糸をかける。肉眼でやっと見える糸であり、これができるようになれば、米粒に文字を書くなんぞは朝飯前となる。訓練はその日のうちに終わればよし。途中で失敗することもある。人間様に試みる前にラットやネコで練習する。私も多くのラットやネコを犠牲にした。我が家でネコを飼わないのはここからきている。しかし、私が脳外科医になったころとは違って、今はDVDを見て勉強できる。これは実に役立つ。言葉で言っても伝わりにくいが、動画を見れば一目瞭然だ。聞くと見るとは大違い、百聞は一見にしかず。

さてピンセットにかける力の解析で外科医の技量がわかるという論文を見つけた。熟練者では力の変動が少ないとの結論。力を感知できるバイポーラピンセットを用

いた力の解析が、外科医の技量の判定に有用であるという研究結果がJAMA Surgeryに載っていた。

カナダ・カルガリー大学のTaku Sugiyama氏は、ひずみゲージ式センサを用いて、かけた力を感知するバイポーラピンセットを開発。このピンセットを使用して、技量の異なる脳神経外科医16人（初心者6人、中堅者5人、熟練者5人）にさまざまな条件の患者26人の手術を実施してもらい、力の測定によって技能レベルを判別できるかを検討した。

その結果、初心者では熟練者に比べてかける力の強さが有意に高いことが分かりました。初心者、中堅者、熟練者の順に力の変動は減少しましたが、その差は手技によって異なりました。強い力における誤差、弱い力における誤差、力の変動性における誤差の比率は、外科医の経験と逆相関しました。弱い力における誤差の比率は、熟練者に比べて初心者や中堅者で有意に高く、これらの誤差の比率を合わせて用いることで、各グループを正確に判別することができました（87.5%）。

手術の技量は数と努力で決まるもので、器用不器用は最初の20例ほどで関係するだけと思っています。同じ手術なら100例やったものより500例やったものが、500例やったものより2000例やったもののほうがうまくできると信じています。そして短期間で多くの手術をやれば腕を磨くことができます。

私もどんな手術でも最初の1例目の手術のときは緊張し、患者さんに申し訳なく思ったものです。しかしそれを悟られることは患者さんが不安になってしまいますから伝えることはできません。術前術後に頻繁に患者さんのところへ行ったことをよく覚えています。

どんな小手術も自分以外の外科医がやるから小手術であって、自分がやる手術はすべて大手術です。

参考文献) Forces of Tool-Tissue Interaction to Assess Surgical Skill Level
Taku Sugiyama, JAMA Surg. 2018;153(3):234-242

=====

▼こちらから「Salud!えひめ」のバックナンバーをご覧ください。

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/ehime/cat130>

Salud（サルー）とはスペイン語で「健康」「乾杯」を意味する言葉です
同僚や友人ご家族に「Salud!えひめ」をぜひご紹介ください。

全国健康保険協会（協会けんぽ）愛媛支部
〒790-8546 松山市千舟町4-6-3 アヴァンサ千舟 1階
TEL 089-947-2100（代表）
ホームページ <http://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/ehime/>

▼配信停止を希望される方はこちらから
https://merumaga.kyoukaikenpo.or.jp/webapp/form/16520_kly_1/index.do

▼登録情報を変更されたい方はこちらから
https://merumaga.kyoukaikenpo.or.jp/webapp/form/16520_kly_2/index.do
※現時点の登録情報が記載されていますので上書き入力にて変更してください。